

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

企業価値向上に貢献するVitalize Companyグループ。知識を結集し、創造力を発揮し、最高品質のサービスでイノベーションとビタミンを社会に提供。

② 中長期の経営戦略

1. システムインテグレーション

公共・通信・金融・エネルギー・運輸物流分野での基幹システム開発実績を強みに、プライム案件拡大と受注単価向上に注力。

2. DXソリューション展開

Wisebook・DynaCADの高収益ビジネスに選択と集中。Trend Tapでデジタルブック普及、EdTechでリスキリング市場展開。

3. 3D CAD推進

DynaCAD CUBEで3D CADデータサービス開始。首都圏から関西・九州地方へ展開。

4. 人材育成重視

スキルアップ研修・資格取得支援で人材育成。次世代技術者・プロジェクトマネジメント人材育成に注力。

③ 対処すべき課題

① 人材確保と育成

- ・労働人口減少によるIT人材不足への対応と育成体制充実
- ・エンゲージメント向上と人材定着のための処遇改善
- ・高度技術者とプロジェクトマネジメント人材の次世代育成

② 技術革新への対応

- ・生成AI・クラウド・セキュリティ分野の急速な技術革新への追従
- ・業務理解力と付加価値提案力の強化
- ・新技術を活用した高付加価値サービス提供

③ 収益性と競争力強化

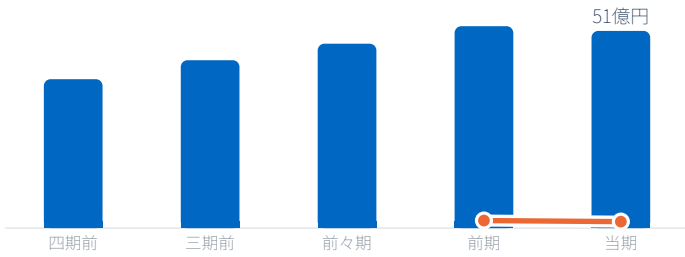
- ・人件費・開発原価上昇による利益率改善が重要課題
- ・プライム案件拡大による上流工程での競争力確保
- ・ストック型・自社プロダクト事業への選択と集中

面接で使えるポイント

- ・1990年創業から35年超、独立系システムインテグレーターとして公共・金融・エネルギー分野で社会インフラ構築実績あり
- ・Wisebook・DynaCADの自社プロダクト展開でストック型ビジネス実現。
- ・Pro's TeQ（収益力・営業力・技術力・品質力）で事業を加速。人材育成と先端技術活用で持続的競争力強化

証券コード 4016

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

情報・通信業に属する上場企業で、直近期の連結売上は51億円、従業員数は382名

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
51億円営業利益率
3.3%財務健康度
35点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 28.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
434万円

情報・通信業内 583位/592社

平均年齢
44.2歳

情報・通信業内 60位/593社

平均勤続
9.4年

情報・通信業内 155位/593社

女性管理職
50.0%

情報・通信業内 4位/373社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

